

衛研第3 - 49号
平成29年 3月 8日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
埼玉県病原微生物検出情報（月報）
8. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
Topics（感染性胃腸炎 ノロウイルス検出状況）
9. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成29年第9週（平成29年2月27日～平成29年3月5日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢1人、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症3人の届出があった。五類感染症は、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、後天性免疫不全症候群1人、侵襲性肺炎球菌感染症5人、水痘（入院例）1人、梅毒4人、風しん1人、麻しん1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(20.48 15.62：図1)の定点当たり報告数は第5週(1月30日～2月5日)以降減少を続けているが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、幸手(23.93)、狭山(23.46)、草加(20.18)保健所管内からの報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.91 2.90：図2)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、熊谷(7.00 6.89)、川越市(5.63 5.88)、春日部(5.67 5.17)保健所管内で報告数の多い状態が続いている。感染性胃腸炎(5.35 5.99)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、川口(12.50)、熊谷(9.11)、さいたま市(8.41)保健所管内からの報告が多い。流行性耳下腺炎(0.51 0.48)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、川越市(1.13)、狭山(0.82)、朝霞(0.71)、さいたま市(0.70)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎17人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、感染性胃腸炎(ロタウイルス)4人、インフルエンザ(入院)7人(前週24人)の報告があり、前者は前週(1人)より増加した。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし（結核を除く）
三類感染症	細菌性赤痢 1人（病原体 <i>S. sonnei</i> ） 腸管出血性大腸菌感染症 1人（類型 患者、血清型 O91）
四類感染症	レジオネラ症 3人（病型 肺炎型 3人）
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人（血清群 B群） 後天性免疫不全症候群 1人（病型 AIDS） 侵襲性肺炎球菌感染症 5人 水痘（入院例） 1人（病型 臨床診断例） 梅毒 4人（病型 早期顕症 期 2人、早期顕症 期 1人、 無症状病原体保有者 1人） 風しん 1人（病型 検査診断例） 麻しん 1人（病型 検査診断例）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数は、減少傾向(20.48 15.62)にあるが、今しばらく注意が必要である(図1)。

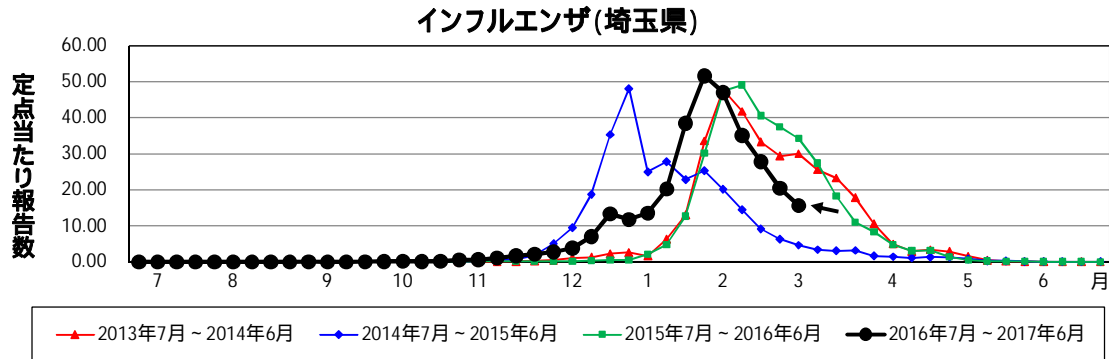


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2013年7月～)

第6週(2月6日～2月12日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は79件で、A香港型(AH3)が58件(78.2% 73.4%)、B型山形系統が12件(11.5% 15.2%)、Bビクトリア系統が9件(9.2% 11.4%)であった。B型が検出される割合は前週より増加した(表1)。

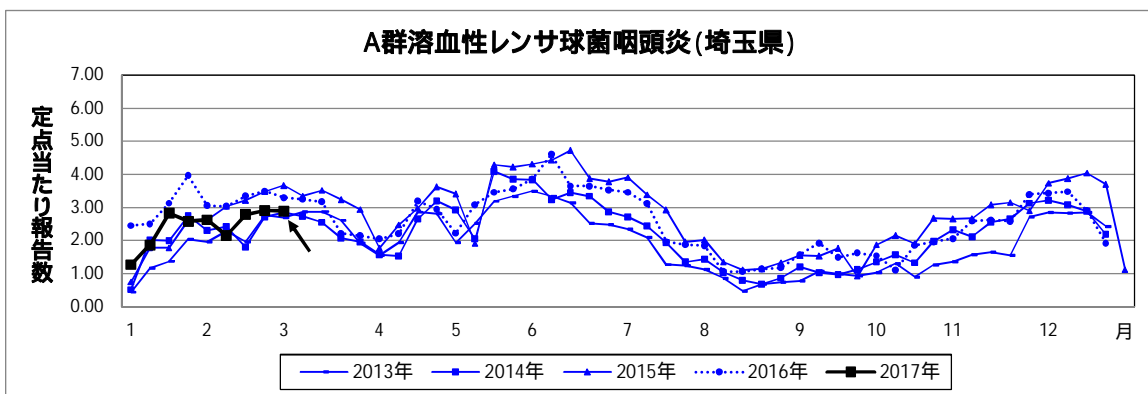
表1. 第6～9週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	6w	7w	8w	9w	4週の合計
AH1pdm09	-	-	-	-	-
AH3	19	21	15	3	58
Bビクトリア系統	1	3	5	-	9
B山形系統	4	4	4	-	12

(-:0)

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第9週)

(2017年3月7日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1383	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢	1	1	11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	7	174				
四類感染症							
E型肝炎		3	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	3	10	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症		1	
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		14	44	侵襲性肺炎球菌感染症	5	34	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	7	水痘*	1	2	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		6	51	先天性風しん症候群			
急性脳炎		9	38	梅毒	4	28	191
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	4	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		4	9
ジアルジア症			1	風しん	1	2	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	9	麻しん	1	1	8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					1

累計は診断日で集計
* 2016年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第9週 平成29年2月27日～平成29年3月5日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
インフルエンザ #1	3,951	13	49	147	141	185	223	289	296	271	278	191	716	135	179	221	240	142	119	70	46	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
RSウイルス感染症	16	3	3	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	44	-	2	9	9	4	7	4	4	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	467	-	2	13	17	39	51	68	49	68	40	31	57	4	28	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	965	1	39	111	107	87	100	110	77	42	47	39	99	19	87	-	-	-	-	-	-	
水痘	86	2	1	5	3	5	14	9	11	12	8	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	10	-	-	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	8	-	-	1	-	1	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	59	2	19	33	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	77	-	-	-	2	2	12	17	12	6	9	10	6	-	1	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	17	2	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1	-	4	3	1	-	-	-	1	
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第7週

(2月13日～2月19日)

平成29年3月8日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(36.17)、石川県(35.77)、長崎県(35.23)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,241例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(46例)、1～9歳(201例)、10代(40例)、20代(13例)、30代(35例)、40代(26例)、50代(46例)、60代(105例)、70代(221例)、80歳以上(508例)であった。

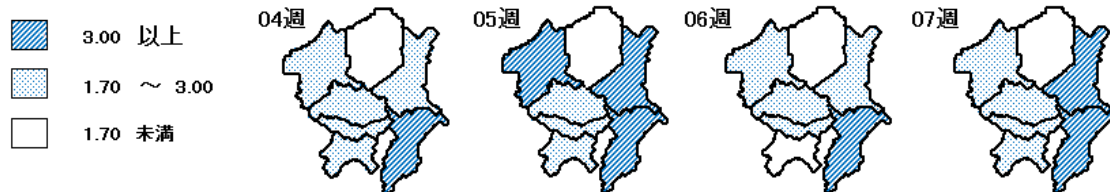
RSウイルス感染症の報告数は827例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山梨県(0.92)、宮崎県(0.81)、佐賀県(0.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(6.90)、鳥取県(5.79)、北海道(4.44)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(19.17)、石川県(10.55)、鹿児島県(9.29)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.16)、鹿児島県(0.65)、沖縄県(0.62)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.97)、広島県(0.42)、鹿児島県(0.42)、福岡県(0.40)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.42)、島根県(0.35)、愛媛県(0.32)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.63)、愛媛県(2.41)、鹿児島県(2.13)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は群馬県(1.75)、青森県(1.17)、沖縄県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。23都道府県から83例報告があり、年齢別では0歳(9例)、1～4歳(48例)、5～9歳(21例)、10代(4例)、20代(1例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(4.04)、茨城県(3.05)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



		平成29年 07週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	118,696	36,125	2,632	1,657	1,839	7,011	5,809	9,277	7,900
	定点当たり	23.92	23.75	21.93	21.80	19.36	27.82	27.02	22.35	22.70
RSウイルス感染症	報告数	827	98	6	8	5	21	13	28	17
	定点当たり	0.26	0.10	0.08	0.17	0.09	0.13	0.10	0.11	0.08
咽頭結膜熱	報告数	1,136	226	20	16	13	43	30	67	37
	定点当たり	0.36	0.24	0.27	0.33	0.22	0.27	0.22	0.26	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,918	2,499	229	80	163	447	546	547	487
	定点当たり	2.50	2.63	3.05	1.67	2.81	2.79	4.04	2.10	2.27
感染性胃腸炎	報告数	17,140	5,150	357	164	300	878	674	1,689	1,088
	定点当たり	5.42	5.41	4.76	3.42	5.17	5.49	4.99	6.47	5.06
水痘	報告数	1,046	328	15	13	17	73	45	74	91
	定点当たり	0.33	0.34	0.20	0.27	0.29	0.46	0.33	0.28	0.42
手足口病	報告数	459	71	11	1	21	9	6	19	4
	定点当たり	0.15	0.07	0.15	0.02	0.36	0.06	0.04	0.07	0.02
伝染性紅斑	報告数	246	87	5	2	6	9	12	31	22
	定点当たり	0.08	0.09	0.07	0.04	0.10	0.06	0.09	0.12	0.10
突発性発しん	報告数	1,232	368	14	24	24	52	48	121	85
	定点当たり	0.39	0.39	0.19	0.50	0.41	0.33	0.36	0.46	0.40
百日咳	報告数	16	2	-	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	-	0.01	0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数	75	5	-	-	-	2	1	1	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2,037	412	20	7	47	79	41	78	140
	定点当たり	0.64	0.43	0.27	0.15	0.81	0.49	0.30	0.30	0.65
急性出血性結膜炎	報告数	9	4	1	-	-	3	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.06	-	-	0.08	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	303	134	14	5	10	18	25	7	55
	定点当たり	0.44	0.66	0.82	0.42	0.71	0.45	0.71	0.19	1.15
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	6	-	-	1	1	2	1	1
	定点当たり	0.03	0.07	-	-	0.13	0.10	0.22	0.04	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	182	34	2	3	14	1	3	7	4
	定点当たり	0.38	0.41	0.15	0.43	1.75	0.10	0.33	0.28	0.36
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	83	20	1	1	3	1	-	7	7
	定点当たり	0.17	0.24	0.08	0.14	0.38	0.10	-	0.28	0.64

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2017年2月号

2017年3月8日発行

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所及び越谷市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

2月のインフルエンザ検体は102検体搬入され、AH3型が56件、B型が15件検出されました。B型が検出される割合が1月に比べ増加した。

細菌検出状況

平成29年2月28日現在

病原体名		分離月	1月	2月	備考（2月分）
三類	腸管出血性大腸菌 O157		2		
	腸管出血性大腸菌 O26		3	1	H11(VT1): 1
四類	レジオネラ菌			2	<i>L. pneumophila</i> (SG1): 2
五類	溶血性レンサ球菌（劇症型）			1	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> : 1
	溶血性レンサ球菌 （溶レン菌感染症）		2	1	<i>Streptococcus pyogenes</i> (TB3264) : 1
	その他		6		

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症

平成29年 2月 28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
E型肝炎	検体数	4	2		6
	E型肝炎 検査中	1			1
A型肝炎	検体数		1		1
	A型肝炎 検査中		1		1
デング熱	検体数	3	1		4
	デング	3	1		4
	ヒトパルボ B19 検査中				

五類感染症

平成29年 2月 28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
急性脳炎 (四類以外)	検体数	7	21		28
	ヒトヘルペス 6	7	15		22
	ヒトヘルペス 7		1		1
	EB		1		1
	ヒトパルボ B19 検査中	3	2		3
風しん	検体数		3		3
	風しん 検査中		3		3
麻しん	検体数		3		3
	麻しん 検査中		3		3

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

平成29年 2月 28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
		検体数												
インフルエンザ	検体数	147	102											249
	インフルエンザ AH3	118	56											174
	インフルエンザ B	20	15											35
	インフルエンザ AH1pdm09	1												1
	インフルエンザ A 検査中	4	31											35
その他のウイルス		コロナ(1)												1

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

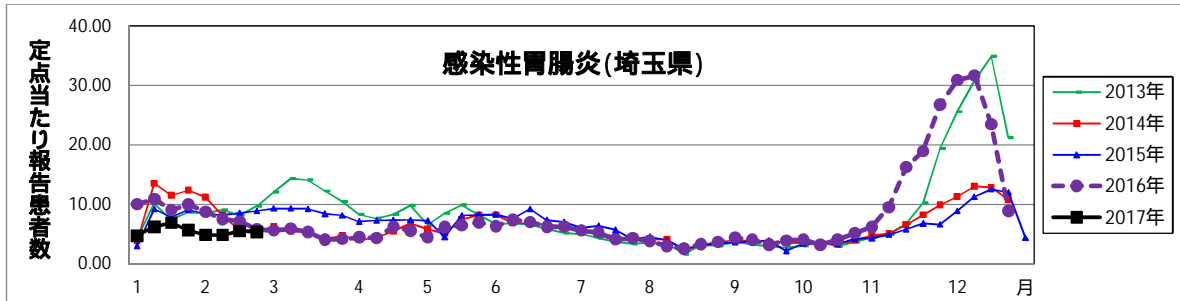
平成29年 2月 28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
RSウイルス 感染症	検体数	40	34											74
	RS	6	2											8
	検査中	6	1											7
	その他のウイルス	アデノ 2(1)												1
咽頭結膜熱	検体数	4	2											6
	アデノ 1													
	アデノ 2	2												2
	アデノ 3													
	アデノ 4	1												1
	アデノ 5													
	アデノ 19 アデノ 54 検査中	1	2											3
その他のウイルス	インフルエンザ AH3(1)												1	
感染性胃腸炎	検体数	12	7											19
	ノロ	2	2											4
	サボ													
	アストロ													
	ロタ (A)	3	2											5
	パレコ													
	アデノ 40/41 検査中		2											2
その他のウイルス	アデノ 2(1),ライノ(1)												2	
手足口病	検体数		2											2
	コクサッキー A4													
	コクサッキー A6													
	コクサッキー A9													
	コクサッキー A10													
	コクサッキー A14													
	コクサッキー A16 検査中		2											2
突発性発しん	検体数		1											1
	ヒトヘルペス 6 検査中		1											1
流行性耳下腺炎	検体数		1											1
	ムンプス 検査中		1											1
無菌性髄膜炎	検体数	18	19											37
	ヒトヘルペス 7		1											1
	水痘帯状疱疹しん		1											1
	EB	1	1											2
	インフルエンザ B	1												1
	検査中	5	9											14

感染性胃腸炎 - ノロウイルス検出状況 -

感染性胃腸炎はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスの他、細菌や寄生虫によって引き起こされる胃腸炎です。毎年秋から冬にかけては、ノロウイルスによる胃腸炎患者が増加します。感染症発生動向調査における報告患者数では、平成28年11月から年末にかけて大きな流行が確認されました(図)。今回は、感染性胃腸炎と診断された患者から採取された検体の検査結果について報告します。

図 感染性胃腸炎 定点当たり報告数の推移



県域の医療機関で2016年11月～2017年2月に採取された感染性胃腸炎の糞便及び吐物、22検体(0歳～58歳うち4歳以下が13件)を検査したところ、ノロウイルスが11件、アデノウイルス40/41型2件、A群ロタウイルス1件、ウイルス不検出8件でした(表)。ノロウイルス11件のうち7件が4歳以下の乳幼児からの検出でした。ヒトに感染するノロウイルスは、主として遺伝子群GとGであり、Gには9種類、Gには22種類の遺伝子型が報告されています。上述の11件のノロウイルスのうち、遺伝子解析を終了した5件では、4件が遺伝子型G.2、1件がG.6でした。

表 感染性胃腸炎検体のウイルス検査結果 (検体採取期間: 2016年11月～2017年2月)

検出されたウイルス	ノロウイルス(G)	11件
	アデノウイルス40/41型	2件
	ロタウイルス	1件
ウイルス不検出		8件

全国の検出状況は、国立感染症疫学センター(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>)から報告されており、同時期では埼玉県同様、ノロウイルスの検出は乳幼児が約半数を占め、遺伝子型ではG.2が最も多く半数以上を占めていました。

3月にはロタウイルスによる胃腸炎が増加します。病原体定点の先生方におかれましては、検体採取に御協力お願いいたします。

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第9週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)

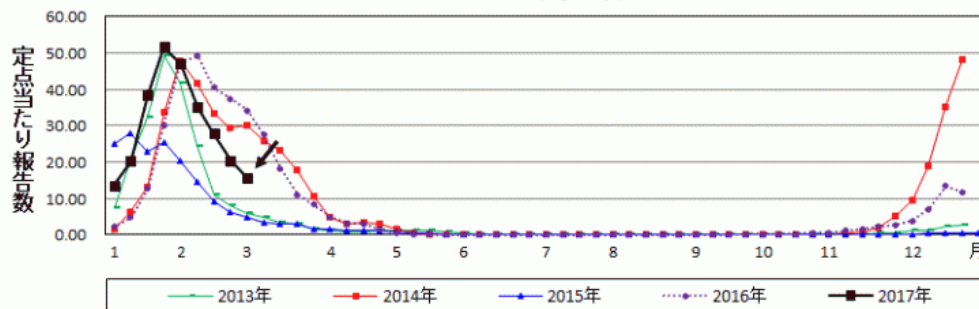
感染症の流行状況 2017年 第9週

2017年第9週（平成29年2月27日～3月5日）の要点 平成29年3月8日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少しましたが、今しばらく注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	↑	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン